



うになつても、天才といわれるほど難しいものを、学生たちが学業の片手間にやっでできるものではない、それにわずか十八名集めて全国大会など、中根は誇大妄想狂だといって馬鹿にしている、ということなどが耳に入ってきたのですが、そんなことは何もこたえないのです。

競技会を開いてみると中根式の学生たちが上手だということがわかり、その翌年からは競技会場に就職を勧誘にきたものです。卒業したら自分のところに来てほしいといって勧誘に来たものです。

二回、三回とやっているうちに気がついたのは、それまで往復旅費を為替を組み、書留にして送っていたのはぼっちゃんみたいなやり方だった。これからはそういうことはせず、大会に参加したら券と引き換えに往復旅費を渡すようにし、それまで為替を組み、書留で送っていた費用は新しい学校に送るようにしようということでした。二回目の大会のときでしたが、お金が足らず、広島で講演、講習して得たお金をまとめて日が迫っていたため、電報為替で台湾の台北商業の校長先生に送ったことさえあったので